

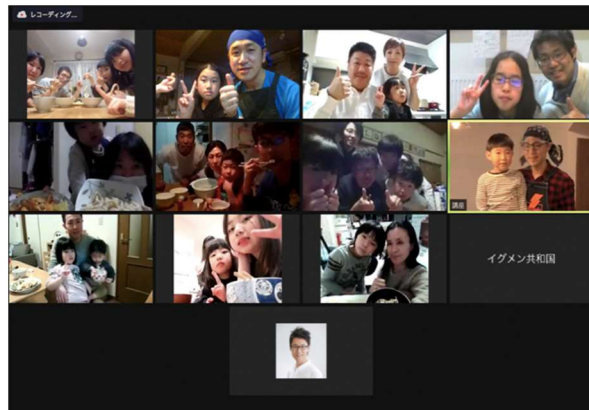
(活動報告書様式)

団体名	やまがたイグメン共和国		
事業名	ウィズ・コロナ時代の親子の対話をアップデートせよ！		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：イオン・さくらんぼ WAON 子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	954,183 円
		うち助成金額	746,010 円

写真①



写真②



■ 事業目的

コロナ禍を踏まえ、物理的に「疎」の状態を保持しながら、対話の「質」を確保するため、オンラインを活用した対話手法を探るなど、家庭や地域における新たな教育や対話のあり方を学ぶ。

■ 実施内容、実施日、参加者数

①親子向け自然体験・オンライン料理教室【計3回】

※他に中止3回

・9/19(土)-20(日)生きるチカラを育むイグメン林間学校(大江町・やまさあ〜べ:10組27人参加)

・2/20(土)パパめしっ①
オンラインカレー講座(7組20名参加)

・2/28(日)パパめしっ②
オンラインうどん作り講座(12組25名参加)

②親向け講演会・寄稿

【計3回】

・11/8(日)学びを止めない! 激動の時代を生き抜くチカラを育む秘訣とは
講師・花まる学習会 代表 高濱正伸氏:158人(会場85人、オンライン73人)

・11/23(月・祝)山形新聞教育欄(寄稿者 花まる学習会・高濱正伸氏)

・2/27(土)「外国語習得とグローバル人材に求められる条件とは」(寄稿者:学校法人東京インターナショナルスクール理事長 坪谷ニューエル郁子氏)

■ 事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果

・1泊2日の親子林間学校では、溪流での助け合い、火起こしや食事作り、野菜収穫など、親以外の大人や初めて会う子供同士の生活

や遊びの中で、協調性、たくましさを育むことができた。(写真①:9月林間学校)
・親子向け・親向け講座ともに、オンライン講座やメディアの寄稿枠を活用したことで、他県参加者との交流ができたほか、従来より広域へ活動の発信など、コロナ禍ならではの学びの場を設けることができた。

(写真②:2/28パパめしっうどん)

② 今後の展望

生活スタイルが大きく変わるアフターコロナ時代を見据え、三密を避けた屋外企画やオンライン講座の開催により、親子の学びを継続する方策を探る。

やまがたイグメン共和国は、育児するパパの団体で、父親の積極的な家事・育児参加等を推進しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
(<https://igumen.com/>)